

なぜ今、「LED」なのでしょう？

「京都議定書」により日本を含む先進国に対して、2008年～2012年の間に温室効果ガスの一定数値削減が義務づけられました。 ※目標は「世界全体で5%の温室効果ガス削減」。

更に、2009年9月、民主党新政権では、国内にて2020年までに 25% の温室効果ガス削減を宣言しました。

今後は企業努力によって、身近なところからCO2を削減しなければなりません。

平成22年4月より、「改正省エネ法」が施行となり、中小規模事業場を数多く設置する事業者も義務の対象となります。

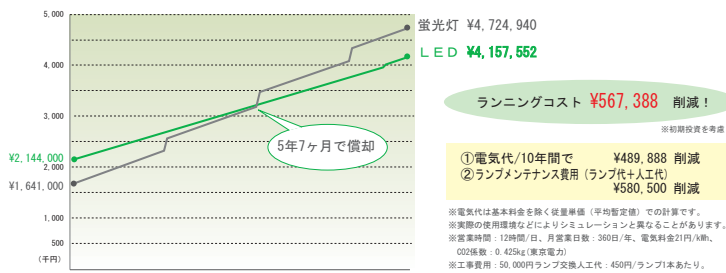
※CO2削減の努力を怠ると、一定のペナルティ（罰則：20万円以下の過料）を課せられてしまいます。

LED照明は省電力な新光源として注目されています。

LEDと蛍光灯器具での比較

LED R9-18W×4	Rseries SQUARE BASE LIGHT	蛍光灯
<p>□450 ERD1212W R9-18W×4灯用 9台 ¥69,800 (電源ユニット付/定価/税抜)</p> <p>消費電力：72W</p>	<p>LED照明は日々発展を続け、高効率&高出力化により、低ワットで適切な明るさを確保しつつ全般照明への展開も可能となりました。</p> <p>美しい光を創り出す、独自の光学制御レンズ ムラのない均一な配光を実現するために、反射板設計のノウハウを活かしたオリジナル光学制御レンズを開発しました。</p>	<p>□450 P社製品 FHP32W×3灯用 9台 ¥54,700 (ランプ付/定価/税抜)</p> <p>消費電力：90W</p>
<p>※ TDI(Lux) シミュレーション</p>	<p>消費電力 20%削減</p>	<p>※ TDI(Lux) シミュレーション</p>

ランニングコスト10年間 (30台での比較)



TOTAL10年間で **9.9 t-CO2/kWh** の二酸化炭素を削減

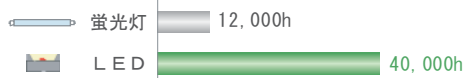
一般乗用車 **約13台分** 杉の木 **約699本**

70本の植林と同じ効果があります！

LED照明の特徴

1. 長寿命

照明用LEDのランプ寿命は約**40,000時間**。
白熱電球の約40倍、蛍光灯の約3.3倍です。



2. 省エネルギー

発光効率が高いため、低ワットで優れた明るさを確保できます。そのため、オフィスでの電力消費の22%、一般家庭で16%を占める照明の電気量削減が可能(※)となります。

※「資源エネルギー庁平成16年度 電力供給の概要」より



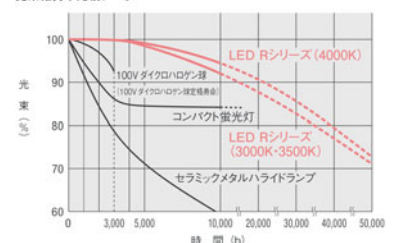
3. 廃棄物の削減

蛍光灯は発光させるために1個あたり3mg～20mgの金属水銀が含まれており、廃棄時に発生する水銀の処理が問題になっています。LEDは**水銀レス**で、器具の小型化で**原材料削減**。環境負荷を軽減できます。

4. 高い光束維持率

RシリーズLEDは最初から最後まで明るさを保ち、**10,000hで減衰率が約90%**と高い光束維持率を発揮します。

光束維持率比較データ



3. 紫外線・赤外線レス

紫外線が少ないため、**商品の劣化が軽減されます**。また、**虫を寄せ付けにくく衛生的**です。赤外線も微量なため、近距離からの照射でも**温度上昇がごくわずか**です。

Rシリーズ LEDモジュール分光分布比較表

